

学校名	MBAGALA Primary School	ID	T-3	WARD	MBAGALA	Municipality	TEMEKE
住民集会結果概要(基本設計調査時)							
開催日	2001年5月11日			参加者	計 22名 (生徒の親=5名、校長・教師=6名、学校運営委員会=8名、県教育担当者=2名、WEC)		
Problem Ranking				代表的な意見			
非常に問題あり ↑ 問題なし ↓	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教室数が不足している</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教員用住宅が不足している</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">トイレの数が不足している</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水の供給がない</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">教科書が不足している</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">教材が不足している</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">フェンス(塀)がない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">教室が適切に維持されていない</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">教室が暗い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">トイレの汚臭</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 2px;">親全員が学費を払えるわけではない</div> </div>			生徒の親:		校長・教師:	
	<ul style="list-style-type: none"> ●維持管理が適切に実施されない場合、教室数不足あるいは過密状況が悪化する。 ●学費の回収率改善に結びつくような父母の意識改革が必要。 		<ul style="list-style-type: none"> ●トイレは不足しているが、実際児童はトイレをあまり使っていない。汚臭が原因。 ●水の供給がないことがトイレの汚臭と関連。 ●(机・椅子の有無と学習効果の関連性)手で押さえてノートを取り、また常に下を向いているため、椅子に着席している児童と比べて、床に座っている児童の学習効果は低いと思われる。また、床にたまっているほこりやチリなどを吸って病気になるケースもある。 ●学費回収率の低さ 				
				学校運営委員会:		Mun・Ward関係者:	
				<ul style="list-style-type: none"> ●教室及びトイレの数不足は深刻。またトイレは多くの児童が使うため汚臭がひどく、伝染病の危険性も否定できない。 ●教室の過密が著しく、現在は校舎新築に専念しているが、新築ができた後は維持管理ができるようになる。より深刻な問題から取り組んでいきたい。 ●生徒はフェンスがなくても快適に学習できるのではないかと。 		<ul style="list-style-type: none"> ●水がないのではなく、配水の問題ではないか。 ●フェンスのある学校が必ずしもいいとはいえない。逆に言えば、教師・住民・生徒間でいい関係を保つためには、フェンスがない方がいいとも考えられる。例えばコミュニティが学校施設を使う際など、「これはコミュニティの財産だ」という認識を持って適正に使用されるべきであり、フェンスを使って学校内外に垣根を作るやり方だけが解決策ではない。 	
備考:							
●1 問題の重要度/緊急性だけでなく、それぞれのカードを原因/結果で捉えている参加者が多く興味深かった。							
生徒インタビュー結果概要(基本設計調査時)							
項目	女子			男子			
回答者	4名(全員6年)			4名(全員6年)			
教室状況	<ul style="list-style-type: none"> ・教室は過密であると感じる(全員)、1教室当り生徒数98人(2) ・全員椅子に着席(2)、数人は床に座っている(2) ・椅子は3-4人掛け ・黒板から離れると見えにくい(それ以外は問題なし) ・教科書は3-4人に1冊 			<ul style="list-style-type: none"> ・1教室当り生徒数は、「100人」(2)、「150人」(1)、「90人」(1)で過密を感じる ・「30人」(2)、「100人」(1)、「全体の4分の1」(1)が床に座って授業を受けている ・遅刻した生徒が床に座る ・椅子は3-6人掛け ・黒板は特に問題ないが、教室後方からは見えにくい、色があせている ・教科書は10人以上(2机)で1冊 			
学校施設	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内で好きな場所は、「教室」(2)、「花壇」(2) ・嫌いな場所は、「トイレ周辺」(2) 			<ul style="list-style-type: none"> ・学校内で好きな場所は、「木の近く」(2)、「サッカーグラウンド」(1)、「教室」(2) ・嫌いな場所は、「トイレ」(2)、「物売りのいる場所」(2) 			
トイレ状況	<ul style="list-style-type: none"> ・汚臭 ・トイレは使わない(2) ・悪臭がひどいので使いたくない 			<ul style="list-style-type: none"> ・汚臭(2) ・マナーが悪い(2) ・状態が悪い(全員) ・水がない(全員) ・男子の方が汚いトイレを使用しているが、不公平だとは思わない。 ・外で用を足すこともしばしば。 ・WHOの支援により水の施設が建てられている 			
男女別トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別棟がよい 			<ul style="list-style-type: none"> ・男女別棟がよい 			
通学	<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩(全員) ・通学時間は「10-15分」(3)、「30分」(1) ・Mbagalaが最近隣校(全員) ・学校選択理由は「最近隣校であること」(全員) 			<ul style="list-style-type: none"> ・徒歩(3)、車かダラダラ(乗合バス)(2) ・通学時間は、「5-10分」(1)、「30分」(3) ・Mbagalaが最近隣校(3) ・学校の選定基準は、「最近隣であること」(3)、「兄弟が通学していた」(1)、「引越し後の最近隣校は過密が著しいのでそのまま通学」(1) 			